

12月定例会議での

一般質問



議員が自身の政策提案も含めて、市
に対して考えを聞くのが一般質問です。
皆さんの生活にかかわる内容がきつ
とあります。

※各議員の1項目をダイジェスト
版でお知らせします。すべての
質問項目および動画は、市議会
ホームページで公開しています。



↑ 動画はコチラ

バス停に西川材の
はしらベンチの設置を



日本共産党
所沢市議員
矢作 美咲

Q 西川材の間伐材を利用
したはしらベンチをバス停
のベンチに活用することは
できないのか。例えば、駅
のロータリー内にバス待ち
の方が利用できるベンチを
設置することは考えられな
いか、見解を伺う。

を問わず、バス停にベンチ
を設置する予定はないと
のことである。ところバス
のバス停に西川材のはしら
ベンチを設置することは、
費用面や安全なスペースを
確保する必要があること
から、難しいと考えている
が、はしらベンチ以外の設
置については、設置場所の
問題、そのほか現地の状況
を踏まえながら、設置の可
否を検討していく。

様々な希望を持つ中学生の
多様な学校選択の保障を



自由民主党・維新・
参政・無所属の会
神戸 井上 謙二

Q 県立高校の共学化、再
編の動きについて、教育委
員会としてどのように認識
しているのか。あわせて、
共学化により、生徒の学校
選択の幅が狭まるのではな
いかという懸念について、
教育長の考えを伺う。

択肢が保障されるとの受け
止めがある一方、共学の学校
が増えることで、受検生の
学校選択肢が増えるとの受
け止めもあると理解してい
る。学校や教育委員会では、
多様な考え方や、生徒、
保護者の意向等を尊重し、
受検生が適切な進路選択を
行うことができるよう、引
き続き支援をしていく。（※

A 県立高校の共学化、再
編の動きについては、生徒の
進路選択に関わることとし
て、その動向を把握してい
る。その中で、男女別の学校
への進学を希望する受検生
にとっては、別学のほうが選

「受検生」としてあります。）

中核市移行に向けた
現状の認識は



自由民主党・維新・
参政・無所属の会
斎藤 かおり

Q 物価高騰が続く、市
民も生活に不安を抱えてい
る。今のタイミングで中核
市を目指すことのメリット
やリスクをどのように認識
しているのか伺う。

質の高いきめ細やかな市民
サービスを提供することが
可能になり、複雑化・多様
化する地域課題に迅速かつ
的確に対応することが可能
になるものと考えている。

A 中核市へ移行すると、
民生、保健衛生、環境、ま
ちづくり、文教といった各
分野において、様々な事務
権限が県から移譲される
ことから、これまで以上に
高い自主性を備え、自らの
責任と判断において、より

乗り越えるべき課題がある
ことは認識しているので、
中核市移行に向けて市民が
不安に感じることがないよ
う、丁寧に準備を進めてい
く。

今の環境対策が将来のことも
たちの負担にならないように



さきがけ
長谷川 利久

Q ペロブスカイト太陽電
池のような新技術につい
て、リサイクル技術の未確
立、高コスト、有害物質、長
期耐久性といった課題を市
はどのように整理しているの
か。また、太陽光発電の導入
に当たり、今の環境対策が将
来のこともたちへの負担の先
送りとならないようにするた
め、何らかの判断基準を設け
ていく考えはあるのか。

実装に向けたモデル創出に
取り組むなど、発電効率や費
用対効果、実用化に伴う様々
な課題の解決を目指してい
るが、社会実装、一般的な商品
化についてはまだ不透明な状
況である。新技術の導入につ
いては、ペロブスカイト太陽
電池に限らず、製品原料の調
達からリサイクル、廃棄まで
のライフサイクル全体を視野
に入れながら、持続可能な社
会の実現に資するよう市民
の皆さんに提供していきたい
と考えている。

A ペロブスカイト太陽電
池については、今年度から環
境省で補助事業により社会

ペロブスカイトと呼ばれる結晶構造を持つ化合物を用いた太陽電池を指し、軽量で折り曲げ可能などの特性を持つことから、設置する場所を選ばないなどのメリットがあります。

市民医療センター再整備基本計画の見直しを検討できないか



さきがけ 島田 一隆

Q 他自治体では、建設コストの増大によってダウンサイジングの見直しを行うなど、計画変更を余儀なくされている公立病院もある。例えば、市民医療センターを小児科に特化する、他自治体のようにダウンサイジングする、隣接している保健センターを全面改修し複合化するなど、計画の変更は可能なのか伺う。

A 再整備基本計画は、市民ニーズ等に基づき、再整備後に実施する医療機能とその規模を設定した。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、国から、公立病院は新興感染症の発生・拡大時に備えた平時からの取組が求められている。再整備基本計画の策定時と比較して建設費用が大幅に高騰している状況ではあるが、現在計画している医療機能は公立病院として役割を果たすために必要なものと考えている。

社会全体で子どもを守る取組を



自由民主党・維新の会 参政・無所属の会 石原 健二

Q 日本版DBSは、「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための設置に関する法律」(子ども性暴力防止法)に盛り込まれた子どもを犯罪事件から守る新たな制度である。社会全体で子どもたちを守る環境をつくるためには自治会、町内会、PTA、商店街、青少年を守る会など、市内で活動してきた団体にも、日本版DBSの制度趣旨に準ずる取組を促していただきたいと思う。

A 見解を伺う。本法律の認定対象となる施設、事業については、今後からのガイドラインで具体的に示されるものと思われるが、社会全体で子どもへの性暴力防止に取り組んでいくためには、そのような団体においても、認定の対象となる施設に関わらず、制度の趣旨を理解していただくことは必要である。今後は、国からの通知等について関係部に対して情報共有を行っていく。

倒木事故後の安全施策は



自由民主党・維新の会 参政・無所属の会 佐野 允彦

Q 令和7年6月に発生した倒木事故を踏まえ、市は事故があった民有地と、すぐ近くの倒木の可能性があるある民有地の2地点の地権者に剪定依頼書を送付したが反応がないとのことである。地元住民に、現在の対応状況について通知するなど、今後、安心安全な生活を確保するためのより踏み込んだ施策や行政代執行の可能性についても伺う。

A 住所不明の地権者については、住民基本台帳等を用いて住所を調査しており、現住所が判明した後、改めて樹木の剪定について依頼をしていく。行政代執行については、私権の制限に関わるため慎重な判断が必要であるが、樹木の枝等の適切な管理を依頼し続けても状況が変わらない場合や、危険性が高く、緊急を要する場合には、道路法の関係法令に基づき厳正に対処していく。

中学校教職員の負担軽減のための部活動の地域展開を



市民クラブ 未来 明信 松本

Q 中学校教職員は、授業に関わる時間以外に部活動に関わる負担が多い。一部の自治体では、地域クラブ活動へ移行するなど地域展開をしている。教職員の負担軽減や、子どもと地域社会とのつながりができる効果があると言われているが、部活動に関わる時間、さらには地域展開について見解を伺う。

A 部活動に係る時間については、「所沢市『設置する学校に係る学校部活動の方針』」の基準をもとに活動している。地域展開は、令和5年度から、学校、PTA、スポーツ団体、文化団体等の方々から成る検討委員会を設置し、様々な意見を伺っている。今年度は、地域展開の実証事業として、複数の中学校の生徒が集まって活動する合同部活動や、これまでの部活動にとられないボウリングやフルート演奏などの体験的な活動を実施し、市として今後の部活動の地域展開に向けて取り組んでいる。

公立保育園保育士の給食の改善を



立憲リベラルの会 末吉美帆子

Q 公立保育園の保育士は、保育の一環として子どもたちと給食をとっているが、5歳児と同量と聞いている。不足する場合は、休憩時間におやつや補助食で各自補うとのことである。この問題をどう感じているのか、市長の考えを伺う。

A 公立保育園における保育士の給食は、あくまでも保育園に通う園児の食育を目的とするものであり、同じ時間、同じ空間、同じ食事を園児と共有することに大きな目的があると考える。保育園児は、小学生と比べ低年齢であり、食事の補助だけではなく、誤飲による事故などの可能性が高いことから、保育士は常に細心の注意を払いながら給食時間内に食事をしなければならぬ。こうした背景から、所管課や保育士が時間をかけて丁寧に検討を重ねた経緯があり、今の量に至ったことを承知している。そのため、おなかが満たしたい保育士は、休憩時間に各自で必要な食事を適切に取っていただきたいと考える。

西所沢駅西口改札口の工事と安全対策について



自由民主党・維新の会 参政・無所属の会 入沢 健二

Q 西所沢駅西口改札口について、駅舎の供用開始は未定であったところ、11月に約2年という工事の完了時期が示されたが、いつ供用開始になるのか示してほしい。また、供用が開始されるタイミングとして考慮すべきことは何かあるのか。

A 駅舎の工事期間は、事業用地内の標識「開発事業計画のお知らせ」において、2026年11月1日から2028年10月31日までの予定で示している。駅舎の工事のほか、駅前広場の工事の進捗状況に応じて調整が必要となることから、現時点では、供用開始時期は未定である。また、工事のほかには市が考慮するものとして、西口改札口開設後における駅周辺の安全対策がある。具体的には、踏切南側の県道の横断に際し、通学時などに滞留できるスペースの整備や、駅舎に接道する前面道路の交通規制など、警察との協議を並行して進めながら、近隣や駅を利用される方々の安全確保に努めていく。

VR(仮想現実)ゴーグルで視覚的に被爆の実相の体験を



党明党
山口 浩美

Q 広島市では、原爆投下時の状況などをまとめたVR映像を原爆展などで見られる試みを始めている。専用のVRゴーグルを装着すると、原爆投下の瞬間や復興していく街並みなどを疑似体験できる。視覚的に被爆の実相を体験できる意義は大きいと感じるため、市民講座等を通して、この事業の展開を提案するが、見解を伺う。

A 原爆が投下された当時の広島市の状況を疑似体験できることは、原爆の恐ろしさを実感することができ、貴重な経験が得られるものであると認識している。しかしながら、広島市からVRゴーグルを借用できるのは2台までで、貸出期間は1か月と定められている。より多くの方に体験していただくためには、対象者や体験方法を考える必要があることから、VRゴーグルを活用した自治体の事例などを参考に調査研究をしていく。

郊外にも公共交通の充実を



市民クラブ
中 毅志

Q 立地適正化計画の目的の1つは、人口減少時代に即したコンパクトシティの実現であったと思う。市街化調整区域の市民生活を考えると、コンパクトシティの推進には、郊外の公共交通の充実を並行して推進していくべきだと考えるが、市長の見解を伺う。

A 市街化調整区域にも多くの市民が居住しているため、日常生活の充実を図ることが重要であると認識している。本市の立地適正化計画は、市民の日常生活に影響が

西武池袋線とJR武蔵野線の相互乗り入れに対する今後の動向は



至誠自民
秋田 孝

Q 西武池袋線とJR武蔵野線の相互乗り入れは、報道によると、2028年の直通運転を目指すとのことである。各沿線の自治体は今後の西武鉄道株式会社と東日本旅客鉄道株式会社の取組などの詳細について、把握するように努めるべきだ。また、相互乗り入れが実現した際のイベントの開催は考えているのか、市長の見解を伺う。

A 西武池袋線とJR武蔵野線との相互乗り入れは、魅力向上や移住・定住の促進につながるなど、本市にとってよい影響が期待される上、西武鉄道株式会社と東日本旅客鉄道株式会社にとっても、利便性が高まるなど、沿線価値の向上につながるものと考えられる。そのため、相互乗り入れが実現される際には、記念イベントなどの実施も含め、両社と情報共有や意見交換を行うなど、引き続き連携を努めてまいりたい。

ACP(人生会議)の普及啓発を



さきがけ
荻野 泰男

Q ACPの普及啓発について、どのような理念と目的のもとで推進しているのか。また、これまでにどのような取組を行い、どのような成果や手応えがあったのか。さらに、市民の認知度はどの程度広がったと考えるか。

A ACPについては、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるようにすることを目的に、在宅医療介護連携推進事業に位置づけ、地域住

旧庁舎と文化会館跡地の活用は周辺隣接地も含めて検討を



至誠自民
大石 健一

Q 旧庁舎と文化会館跡地の隣接地に民間所有地がある。話を伺うと、マンションの建設や民間デベロッパーからの営業活動もあるそうだが、跡地により環境をつくっても、隣接する民間所有地が別に開発されると近隣関係や景観形成に影響があるのではと懸念している。整備を進めていくために思い切って周辺隣接地も含めて検討すべきだと思うが、見解を伺う。

A まず一般論になるが、

西部クリーンセンターの廃炉による効果を周知しては



至誠自民
谷口 雅典

Q 報告書によると、ごみ減量、資源化施策による削減量を加味すると、2038年度には西部クリーンセンター処理可能量を下回る可能性がある。西部クリーンセンターが終了すると、約12億円のコスト削減が見込める。そこで、西部クリーンセンターの廃炉について市の広報で特集を組むとともに、市民も努力すれば西部クリーンセンターだけで焼却が間に合い、非常に大きなコスト削減につながるといって一大キャンペーンを展開してはどうか。

A ごみの減量、資源化を進めるには、市民や事業者が自分事として取り組むことが重要である。これまで市の広報やSNSなどの媒体を活用しながら、様々なごみ減量、資源化の取組について周知、啓発している。そうした中で、西部クリーンセンターでの焼却が終了するとのアピールは、市民や事業者に対してごみ減量、資源化推進の意識を高めていく一つのアイデアと考えている。



市民の声を聞きながら
物価高騰対策を



立憲民主党・
れいわ新選組
赤川 洋二

Q 物価高騰に対応するための重点支援地方交付金の使途については、おこめ券よりも4月から値上げする水道料金を対象にするなど、いろいろなやり方があると思う。この交付金は何がよいかという、必要などころに必要なのを届けるというのだが、何を必要としているのかという。市長は、タウンミーティングや市長への手紙に力を入れているので、市民の

声を聞いてみてもよいのではないかと思うが、市長の考えを伺う。

A 市民の皆さんのお声をしっかりと反映していくことは大変重要である。市長への手紙や、出席する様々な市内の催しなどにおいて、市民の皆さんのお声を聞き取る機会が多くある中で、いただいた意見を職員と共有しながら、物価高騰対策を進めていく。

小水力発電を環境学習の
教材としてはどうか



党団共産
市議
中井 日本

Q 小水力発電は身近な地域の自然やインフラと結びついているため、学びにもよい題材と考えている。地域にあるものを生かしながらエネルギーが生み出せるという感覚を持つことは、環境政策や地域づくりを担う人材へと育っていくという点で重要である。小水力発電を再生可能エネルギーの教育や環境学習の教材とし、学校や地域団体と協働して位置づけてはどうかと考えるが、見解を伺う。

A 再生可能エネルギーの推進は、地域の御理解、御協力が必要となることから、市ではこどもたちの環境意識を高めるべく学校向けの出前講座や小学校4年生全員を対象とした副読本「わたしたちの環境」を作成し配付するなど、様々な啓発活動を行っている。こうした取組の中で、小水力発電を含む再生可能エネルギーの活用方法については、より身近に感じられる効果的な周知方法等について検討していく。

誰一人取り残さない
防災体制を構築するためには



自民党
クラブ
齋藤 由紀

Q 今回の総合防災訓練を踏まえ、今後の防災行政をどのような方向へ強化していくのか。特に要配慮者支援や情報伝達体制の強化を含め、市長の見解を伺う。

A 今回の訓練を踏まえて、改めて災害に対する備えが重要であると認識し、各部署にその徹底を指示した。今後は、市民の皆さんの命を守り、いち早く復旧・復興を果たすことを目標とし、スピーディーな判断と柔軟な対応で臨むという基本方針の下、初動対応を重視し、防災関係機関との協力体制の充実、被害状況の把握や市民への情報発信、情報収集、伝達体制の整備など、公助の強化を図ることはもちろんのこと、家庭における防災対策の促進や消防団の活動体制の充実、配慮を要する方への対応など、自助・共助による防災力の向上に努め、引き続き地域の皆さんと一丸となって、防災・減災に向けた対策を推進していく。

「電話リレーサービス」を
使用した手話リンクの導入を



立憲民主党・
れいわ新選組
長岡 恵子

Q 手話リンクは2025年4月から全国で導入可能になった新サービスで、聞こえない住民等が実際に問合せをした場合、カメラを搭載したパソコンやスマートフォンなどで自治体ホームページ上の「手話で電話をかける」ボタンをクリックすれば、電話リレーサービス手話通訳オペレーターを介して音声電話の窓口

も導入してはと思うが、見解を伺う。

直接問合せをすることができ、既に複数の自治体が導入を発表している。本市

A 電話リレーサービス手話リンクは、市ホームページ上にリンクを貼ることで、事前登録なしに手話通訳オペレーターを介して市役所の各課に問合せができるもので、聴覚に障害のある方への情報保障として有効であると考え。本市としても、導入に向けて進めていきたい。

「平和について」
市長の政治姿勢は



党団共産
市議
花岡 健太

Q 現在の政権に対し、「所沢平和都市宣言」にも書かれている国是の非核三原則の堅持、台湾有事発言の撤回を求めるべきだと考えるが、市長はどのように考え、国に働きかけていくつもりなのか。

A 本市は、平和な世界を確立するとともに、未来に向かって平和な社会を築くことを目的として、平成27年7月に「所沢市平和都市宣言」を制定した。この平

和都市宣言の中では、戦争という過ちを繰り返さないこと、国是の非核三原則を厳守することが明文化されており、本市としては、これまでの立場に変わりはない。戦争を決して繰り返さないため、今を生きる私たちが、戦争の悲惨さ、平和の尊さをしっかりと強く認識し、次の世代に継承していくことが非常に重要であると考えている。

地域の声を聞いた
新所沢のまちづくりを



党団公明
植竹 成年

Q 新所沢バルコの跡地利用が進む今、総務経済常任委員会が参考人から、今後も我々の意見を吸い上げてほしいとの意見があった。地域の声をどのような機会を設けて聞かれようと考えているのか、市長の見解を伺う。

A 新所沢地区は現在、かつてより街のシンボリックな存在であった新所沢バルコが閉店し、跡地には商業店舗と集合住宅が建設されようとしており、さらには市有地の

活用も含め、新たな魅力をつくっていく転換期にあると言える。今後においては、新所沢地区が持つ大きな特色を生かして新たなにぎわいを創出し、さらなる魅力が生まれるよう、まちづくりを進めていくことが望ましいと考えている。まずは、地元自治会や商店会組合の皆さんと意見交換を行っていくとともに、いただいた意見を関係部署間で共有を図れるような市の体制も構築していくことが重要である。

「将棋の日」のイベント開催に
向け充実した予算の確保を



立憲リベラルの会
石本 亮三

Q 本市で「第52回将棋の日」イベントの開催が決定した。令和7年は兵庫県加古川市で開催され、予算は日本将棋連盟への負担金550万円、実行委員会への補助金200万円であったが、本市で同じ予算額で開催しても大丈夫なのかと不安になる。改めて予算に関してはもう少し充実してほしいと思うが、見解を伺う。

A 「将棋の日」イベントは、全国から多くの将棋ファンが訪れる将棋界最大のイベントである。担当職員から加古川市への視察の報告を受けたが、改めてイベント運営の大変さを実感する一方で、このような大きなイベントを開催できるということは喜びも楽しみも大きく、令和8年の盛り上がりをお願いしているところである。このようなイベントなので相応の予算が必要となることは認識している。視察での学びを踏まえ、必要な予算を計上していきたいと考えている。

公共交通の充実に向けて
補助メニューの活用を



産党団
市議子
澄子
日本所
沢小

Q 交通事業が独立採算制を前提として存続することは、これまでも増して困難になっており、このままではあらゆる地域において路線の廃止や撤退により交通崩壊が起きかねないという危険性を表している。国土交通省では、地域公共交通に関して多様な補助制度のメニューがあるようだが、その活用についてどのように考えているか。

A 地域公共交通に関する補助については、令和5年度にとろろワゴンの実証運行に対して、県の「地域公共交通DX・コンパクト+ネットワーク促進事業補助金」を、令和6年度はとろろバスロケーションシステム導入事業に対して、国の「デジタル田園都市国家構想交付金」、県の「地域公共交通DX・コンパクト+ネットワーク促進事業補助金」を活用した実績がある。今後も、本市の公共交通に関わる事業に活用可能な補助メニューがあれば積極的な活用に努めていく。

旧庁舎と文化会館跡地の
活用について市民から広く
意見を伺う機会を



自由民主党・維新・
参政・無所属の
前田 浩昭

Q 旧庁舎と文化会館跡地は市の中心市街地に位置し、将来のまちづくりに大きな影響を与える極めて重要な公共資産である。この跡地の活用は、市全体の将来像を考える上で、大きなテーマであり、シビックプライドの醸成に資する絶好の機会でもある。例えば、ワークショップやアンケートなどの手法を用い、より広く市民からの利活用について意見や提案を伺う機会を設けてはどうか。

A 旧庁舎と文化会館跡地の利活用の検討については、今年度サウンディング型市場調査②を実施するとともに、地域住民や関係団体に話を伺うなど、取組を進めている。当該跡地は、所沢地区以外にお住まいの方々にとっても関心がある重要な場所であると認識していることから、広く市民の声を聞く機会を設けることについて、適切な方法で実施できるように、検討を進めていく。

学校現場での
動物愛護教育の推進を



党
竜一
公明
久保

Q 全国的には飼育動物を通じて、命の尊さ、他者への思いやる心、責任感を育む教育が重要視されており、近年の法改正などを経て、社会全体の命のあり方が問い直されている。動物愛護教育は命の教育の重要な一環であると考えますが、本市として、動物愛護教育をどのように位置づけ、今後学校現場で推進していくのか、見解を伺う。

A 動物愛護の教育、生き物を大切にする教育は、例えば、小学校では生活科や理科の学習において、動物や植物を育てる活動を通して生き物への親しみを持ち、命を大切にしようとする心情や態度を育てている。また、小・中学校の道徳では、生命尊重や自然愛護を内容として取り上げて、命の尊さや動物を大切にしようとする道徳性を育てている。教育委員会では、学校に動物がいる、いないにかかわらず、命の教育の重要性を認識し、児童生徒の体験や経験も含め、引き続き学校教育全体で推進していく。

Who is this ?



It's MIMIMARU !

僕は所沢市議会の広報広報部門を担当するみみ丸！
所沢市議会65周年から活動を続けて10年！
市民の皆さんと議会をつなげるため、これからも頑張るのだよ

- Point①【name】**
議員数が33人であること、市民の声に33(耳)を傾け、よく聴くこと、という意味を込めて「みみ丸」と名付けられたのだ。
- Point②【leaf】**
お茶の葉を頭に乗せている。所沢市内を走る幹線道路の形を模した葉脈を持つ特別な葉っぱなのだ。市役所の位置には相棒のてんとう虫が！
- Point③【face】**
忍者として様々な仕事をこなすため、顔を変えることができるよ。33の顔を使い分けるのだ。
- Point④【body】**
赤いスカーフはこだわりのトレードマーク。羽根のような手はひばりの手？



事業の検討段階で自治体と民間事業者が直接対話し、事業化に向けたアイデアや市場性の有無を確認する手法です。公募前の情報収集により、最適な事業の条件を整える狙いがあります。